

福井とタンザニアの節電所・発電所 共同事業

活動地域  タンザニア、福井県

ひろげる助成

3年目

実践

節電所認定

8か所

新規年間節電量

1,494 kWh

今年度計画の達成度

60%

目標達成度

75%

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

- タンザニアでの資材調達がスムーズにできなかった
- 新型コロナウイルス禍でタンザニア渡航ができず、Zoomでのやり取りでは意思疎通がうまくいかなかったことがあった

■工夫した点

- Zoom会議の頻度を上げて、計画・検討・結果点検を一つずつ行った
- オフセットの節電所や災害時のソーラー活用など日本の状況と合わせた内容をすめた



実証実験のドドマ市民ソーラーの設置工事

課題

タンザニア市民共同発電所を作り非電化農村を再生可能エネルギーで賄う。福井では発電量をオフセットする節電所を設置する。共同運営体制で持続可能な社会づくりをめざす。

目標

- ①市民共同発電所システム作りと現地NPOとの共同運営体制作り
- ②発電所3か所、4,300kWh/年(3年間)
- ③オフセットの節電量6,000kWh/年(3年間)

活動内容と成果

タンザニアの非電化農村に市民共同発電所を設置することをめざし、ドドマ市民ソーラーを設置して、住宅の電気を賄う実証実験をすめた。3年間で発電所1か所設置、830kWh/年の発電。

ドドマと福井でZoomによる交流会を開催し、ソーラーや文化の交流をすめた。

タンザニアの消費電力増加をオフセットする節電所認定制度を作り、福井で節電設備の導入をすすめる活動を行った。節電量は3年間で76,757kWh/年に到達。

新型コロナウイルス禍ではあったが、市民ソーラー1号機の事業計画をタンザニアNPOと共同作成できた。



イベント出展の活動紹介

全助成期間の活動を振り返って

コロナで渡航できなかったことが最大の障害になり、お互いの国の状況の違いによる意思疎通の不十分さがあったが、実証実験のソーラーや節電所認定制度、文化と人の交流など実践できたことが多くあり、今後の非電化農村でのソーラー普及や日本の災害時のソーラー利用等活動の方向性を出すことはできた。



ソーラー設置後のドドマ市民ソーラー交流会

〒910-0004
福井県福井市宝永4-13-4
電話：0776-30-0092
E-mail: npo@ecoplanf.com
HP: http://ecoplanf.com/



今後の
展望

非電化農村の市民ソーラー1号機の事業計画をもとに設置を行い、タンザニアでのソーラーの普及促進を図っていく。その際、ソーラーのメンテナンスの技術交流を行って、効率の良いソーラーとバッテリーの使い方をタンザニアと日本双方で啓発していく。